



月が土星に接近

天空が広がる一覽三山の台(久住山系、祖母山系、阿蘇山系の山々を一望できる)であるうぶやまの高原には、積雪があり大変寒いのですが、晴れていれば肉眼で見える限界の6等星や天の川まで見える素晴らしいうぶやまの星空を楽しみませんか。

指針コラム (天体観・見どころ)

1月のうぶやま天文台の星空情報の第4弾は、1月22日～24日に南西から西の空で細い月が土星に接近して見えるという天文現象です

夕方の南西から西の空には、1等級の明るさで土星が輝いています。23日には、月齢4.6の細い月が土星に接近して見えます。昨年秋には空高く見頃だった土星も、3月25日の合(ごう：太陽の周りを公転している惑星が地球、太陽、惑星と重なる瞬間で太陽と重なって見えなくなる)に向け、同じ時刻でだんだんと低く見えるようになります。もう土星のシーズンは終わります。

2025年の土星は環の傾きが大変緩やかになり、一直線に見えました。この現象が見られるのは15年後です。その姿も見納めになります。

観察対象



細い月と土星の接近